



TITLE:

忘年会にて(ひろば)

AUTHOR(S):

S., P.

CITATION:

S., P.. 忘年会にて(ひろば). 物性研究 1966, 5(5): 368-372

ISSUE DATE:

1966-02-20

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/85845>

RIGHT:

海外日より

みの signal をとらえていることを確認して、異方性はごくわずかだが存在すること、 $\Delta k_F/k_F(110) \sim +0.1\%$, $\Delta k_F/k_F(100) \sim -0.1\%$, とのことです。もしこれが positive な結果だとすると、異方性が Ham の potential のままで充分かどうか一寸興味があります。(Li はまだやつていない様です) Super II ではスイス RCA 研究所の人が、Maki さんの type III とみられそうな 2 点での 1st order change を見つけたらしいのですが、 κ_1 , κ_2 の温度変化が Maki さんの prediction と合わないことを報告していました。これには幾人かの人々が、Maki さんの $\kappa_1(T)$, $\kappa_2(T)$ の計算が誤っているのではなかろうかとコメントしていました。

さて、多分 proceedings は出ないでしょうが、又、次の機会にお知らせできると思います。今回はこの辺で、中嶋先生始め、研究室の皆様によろしく。

1月8日 田 中 実 拝

ひろば

忘 年 会 に て

S. P.

と き : 1965年頃のある年の暮。

と ころ : 都会の巷の中。助教授クラスのフトコロ相応のある料亭の一室。

ひ と : 物性関係の実験屋 2 人、 E_1 , E_2 ,
理論屋 2 人、 T_1 , T_2 .

かなりアルコールが廻った頃、テーブが廻り始める。

E_1 : アメリカの Redfield という人はえらいね。日本の実験屋にはああいう idea はつかまえられるいな。あとから見れば何でもないことなんだが、理論が基礎から頭に入っていて、式のもつ物理的な意味が vivid につかめていないとあの考えは浮ばない。

T₁ : Redfield の仕事ぶりをみると、理論屋と同じだな。机に向かつてボヤつとしていることの方が多い。Hahn なんかもそうだ。実験室にはめつたに行かない。もつぱら机に向つて何やらわけのわからぬ画をしきりにかいている。実験の技術的なことは別の人がやるんだ。

E₂ : 要するに自分は理論をやるつてことだな。毎日実験ばかりして体を動かしていると実験をやっている気になるから困るんだ。いくら体を動かしたつて物理とは関係ない。物理は頭から出てくる。……

T₂ : いや僕もそれと似た様な経験をしたよ。事情があつて図のやたらにある論文の図の原稿を全部自分で製図したことがあるんだ。ところが製図なんて仕事は物理とは何の関係もない筈だし、いやでいやで仕様がなくちやいけないんだが、あにはからんややつてると非常に楽しいんだよ。あーあ物理なんかやめてこれでメシを食つたら気楽だろうなあ、なんて気にさえなるんだ。全く危険なものだよあれは。なるほど実験のたのしさとにかくの如きものかと思つたね。ガラス細工のたのしさとか、回路を組むたのしさなんてものは……

E₂ : 大体日本の実験屋は実験をやりすぎるよ。あれじや物理を考えるヒマはありやしない。実験ごつこだ。あれで物理をやっているつもりならラジオ屋の小僧だつて立派な物理屋だ。

T₂ : それで一寸式が分らなくなると理論屋の所へもつて来てきこうとする。理論屋だつて一寸専門から外れたらそんなにすぐ分るわけがない。しかし時間をかけてしらべるには自分の仕事が面白すぎる。それで理論屋はちつとも実験屋にサービスしないと文句をいわれる。理論屋には理論プロパーの仕事というものがあるんで、実験屋のコンサルタントぢやないよ。

T₁ : 実験屋と理論屋の協力は give and take で自然発生的に出てくるのが一番いい…… いやそういう関係だけあればいいんだ。片方が一方的に協力を義務づけられる様な事はいけないし、そうしないとケシカランという様な空気が出てくるのが一番こわい。

E₂ : まあしかし、コンサルタント的な理論屋もいていいさ。が役に立たないことをやる理論屋も必要だということだろう？大体しかし、コンサルタントにきけばすむ程度の理論は実験屋自身に分るべきだね。

E₁ : 式の意味を人に考えてもらつたんじやそこに含まれてる物理は決して

ひろば

分らないんだ、ということが分らないだな。近頃の学生と同じだ。物理は人に教えてもらうのだと思つてゐる。

T₁ : 実際この頃の学生ときたらひどいもんだ。大学院 DC ともあろうものが、教官が一寸長いこと留守にすると、そんなにいなくならちや困るという。そんなの DC の資格ないな。

E₁ : まづ幼稚園の生徒だな。

T₁ : それにやたらに人の講義をききたがる。講義をきいて物理が分ると思うのは登山案内書をよんだら登山家になれると思う様なものだ。

E₂ : 学部の講義はともかくとしても、大学院だつたら誰も講義出来ない様なことこそひとつやつてやれという意気がなきやロクな研究者になれるものか。

T₂ : まあとにかく、依頼心の強いことはおどろくべきものだ。教育ママの悪弊ついに大学院に及ぶ……か。

T₁ : 教育ママもママだが、受験教育の悪弊だな。

E₁ : 教育ママだつて受験の産物ぢやないか。

T₁ : ああそうか。

E₁ : ところでその学生だが、学生受験でラジオを組立てさせるの意味ないね。あんなこと物理と関係ない。そんなことは物理と関係ない。そんなことは必要がおきたら自分でやれるよ。そんなヒマがあつたらもつと本をコツコツ読んで物理を身につけてほしいものだ。エレクトロニクスというのはそのあかつきに物理的事実をしつかりつかむためにやればいいんだ。まづエレクトロニクスから始めるというのは話が逆だ。

E₂ : ラジオ屋の小僧の養成か。

E₁ : エレクトロニクスなんていくら覚えても専門の技術屋はおろかラジオ屋の小僧にだつてかなわないさ。実験器械の組立はそういう人間がやればいいんで、物理とはちつとも関係ない様な回路を勉強するヒマに本をよんだ方がいい。

E₂ : それはそうさ。しかしそうなつたらそれは理論の勉強であつて、今いつた意味のエレクトロニクスとは話が別だ。

T₁ : 話が逆なことはエレクトロニクスに限らないだろう。大体 MC に入とすぐにデータを早くとれとれとやかましくいわれる。それに忙しくて理論を

勉強するヒマも図書室に行つて雑誌をあさるヒマもないなんてのはまさに逆立ち……

T₂ : しかし理論の場合でも、物理より計算方法の方が先にあつて、何でもいからこの方法を使つて計算してみたいとか計算してみろということはあるだろう。

T₁ : うんそうだな。そういわれると一寸弱いな。しかし一方じやそれは理論を身につける一つの手段でもあるんだがな。

E₁ : まあいずれにしても、学生に向つて本をよむヒマがあるなら実験しろなんていうのは言語道断だ。

E₂ : 要するに日本の実験屋つてのは実験に埋没してしまつているんだね。だから何の塩に何の塩を入れたらどうなるだろうなんてことしか考えつかないんだ。

E₁ : 銅鉄主義。

T₁ : その原因か結果かしらないが、日本の実験屋…… いや実験屋ばかりじやないかもしれないが、モノにべつたりくつついていないと何となく不安だという妙なコンプレックスがあるのじやないか。

T₁ : モノにべつたりくつついたんじやかえつてモノはよく見えないと思うんだがな。

E₁ : そうだな。理論屋が一寸アブストラク的な一般論をやるとたちまちあれは理論じやないという声がどこからか聞えてくる。その方が銅鉄実験学よりよほど物理なんだが。

T₂ : モノをバカみたいにくらんだつて物理法則は出てこない。観測と同時に自由な連想と多少とも抽象的な論理の操作がいる。

T₁ : 大体物理だとか物理じやないとかいうワクにこだわるのがむずかしいね。イギリスなんかじや化学畑の Coulson とか Griffith が mathematics の professor になつてるし。そんなせまい枠をつきやぶるのが学問の発展というものだ。出て来た芽をどんどん伸ばして行くことが本来なんで、その結果一つの教室全体が mathematics に近づいていつたつていいし、場合によつちや化学の方に近づいちゃつたつてかまわないんだ。

E₁ : 全くそうだ。物理教室では実験と理論の比がどれ位なのが健全かなん

ろば

て議論は全然意味ないよ。全部理論だつて全部実験だつていいと思うね。外国には Department of Theoretical Physics というものがよくあるのじゃないか。

T₂ : 理論屋が実験屋と接触すればいいんで、何も同じ場所に実験屋がいる必要はない。そんなみみつきいことにこだわってるから特色のある研究がせつかく出て来ても皆でその足をひつばることになつちやうんだ。

T₂ : アメリカの Perdue じゃ物理教室は素粒子と半導体だけだ。

E₁ : 特長のある研究をのばしてユニークな教室を作ろうという発想が全然ないね。特色のあることをやるとかえつていじめられる。

E₂ : つまり何でもみみつきいのさ。理論屋が一寸アブストラクトな一般論を作つても実験屋には役に立たない ……

T₁ : ように見える。

E₂ : 全然目先のことしか考えない。あまりユニークなことをやるとそれもまたまわりの人間にはちつとも役に立たないし、それに夢中になると ……

T₂ : 会議や雑用を一生懸命にやつてくれなくなるか。

E₂ : ユニークでないことにはそもそも夢中になれないやね。

T₁ : とにかくよそと同じことをやつていれば無事で、時流にのついていれば安心だという日本精神だな。

T₂ : 世の中みみつきくて息苦しいが、物理教室位は多少ましだろうと思つたんだが、どうもちと悟りがにぶかつたな …… 一寸自分の能力を生かそうと思つてとすぐ邪魔をされる。

E₁ : やはり日本の縮図だな。

— END —

ニ ュ ー ス

◎ 三 輪 浩 氏: 阪大講師に1月1日付で昇任

◎ 伊 藤 光 男 氏: 1月1日付で九大より物性研分子部門の助教授に昇任

◎ 川 村 清 氏: 東大大学院より物性研理論Ⅲ部門の助手に移られた